

# 産業厚生常任委員会資料

令和元年10月17日

健康福祉部 健康課

# 目 次

○圏域における看護師確保策について	P 1～3
【参考資料】	
○新聞記事	P 4

## 圏域における看護師確保策について

北播磨圏域における看護師確保策については、令和元年7月12日に開催されました「5市1町及び県民局調整会議」において協議が行われ、9月末までに小野市の医療系専門学校誘致の提案に対し、播磨内陸医務事業組合立 播磨看護専門学校（以下、「播磨看護専門学校」という。）の管理者会において方針を決定することを令和元年8月2日の産業厚生常任委員会において説明しましたので、その後の経過について報告します。

### 1 経過報告

#### 【令和元年8月2日以降の経過について】

日 時	内 容	
8月14日	管理者会	<b>【管理者会としての方向性】</b> ・メリット・デメリットの抽出 ・██████から話を聞くこと」の決定
8月15日	事務局	<b>【小野市訪問】</b> 管理者会の内容報告、██████との連絡について依頼
	小野市長	<b>【管理者（加東市長）へ電話連絡】</b> ・██████は播磨看護専門学校の処遇や閉鎖については全く考えていない。 ・小野長寿の郷構想区域内の進出希望はある。 ・播磨看護専門学校のことは小野市長の提案である。 ・小野市が仲介しているのに、仲介を飛び越えての話はかみ合わない。 ・質問書を小野市から██████に渡してもらうことに変更（小野市長が██████と話をする）
8月15日～ 8月27日	構成市町	・各市町長、病院長が██████に聞きたい内容をまとめる。 （構成市町：西脇市、加西市、加東市、多可町の3市1町）
9月2日	事務局	<b>【小野市訪問】</b> ・██████への質問書を小野市へ提出
9月12日	小野市長	<b>【管理者（加東市長）を訪問】</b> ・小野市長名で「質問書取り扱いについて」の文書を付けて、██████への質問書の返戻があった。

9月13日	管理者 (加東市長)	<p>【小野市長を訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小野市長は9月末までに何を求めているのかを確認する。</li> <li>小野市長：「小野市の提案に乗ることを前提に協議のテーブルにつくこと」である。</li> <li>・「前提というのは、決定ではない」との理解で間違いないかを確認する。</li> </ul>
9月25日	管理者会	<p>【最終結論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成市町において意見は一致せず。</li> <li>・管理者（加東市長）から小野市長へそれぞれの意見を口頭で伝える。</li> </ul> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議は続けるが判断は先延ばしする。理由は、質問に対しての答えがほしいため。</li> <li>・提案に乗ることを前提に協議のテーブルにつく、その中で明らかにしていけばよい。</li> <li>・構成市町の希望（ヒアリングや質問書）がかなわない状態でこれ以上の話はできない。</li> <li>・構成市町で意見が一致しないのも一つの結論である。</li> <li>・小野市の出方を見てもいいのではないか。</li> </ul>
9月30日	管理者 (加東市長)	<p>【小野市長へ回答】 *西脇市長、加西市長同席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者（加東市長）から小野市長へ回答</li> </ul> <p>「種々それぞれ意見は出たが、構成市町の思いを伝える場を一度設定してもらえるかどうか。■■■■との面談という形が結論であり、今日の回答とする。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西脇市長・加西市長から</li> </ul> <p>「構成市町として■■■■に一度会って話を聞かないと、との思いがある」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小野市長</li> </ul> <p>「前向きな会議として■■■■と構成市町と小野市で会議を開催することは問題ない。」</p> <p>■結論</p> <p>構成市町と小野市と■■■■は協議のテーブルにつき、質問等調整をして、メリット・デメリットを明らかにする。協議の場の設定は小野市が行う。</p>

## 2 今後の予定

小野市が[REDACTED]との協議開催の調整を行い、会議開催を設定する。

## 医療系学校と面談設定

播磨看護専門学校の廃止提案で

### 北播磨4市町 小野市に確認

西脇、加西、加東の3市と多可町でつくる「播磨内陸医療事業組合」が運営する播磨看護専門学校（加東市

進出を希望する専門学校側との面談を小野市が設定すべきであると確認した。

家原）についての調整会議が9月30日夜、加東市内で開かれた。小野市が、同校を廃止した上で、同市内に誘致を目指す民間医療系専門学校へ教職員を移管する提案について議論。組合側は、

民間医療系専門学校を巡っては、小野市は現在各市町が負担している運営経費が不要になるなどのメリットを強調する一方、3市1町は看護師の確保を懸念。7月に三木、小野を含む5市1町が話し合ったが議論

は平行線をたどり、9月末に結論を持ち越していた。

この日の会議には3市の市長と小野市長、播磨看護専門学校の事務局長が出席した。組合管理者で加東市の安田正義市長は「小野市の提案に乗ることを前提に協議のテーブルに着く。しかし、それは誘致の決定ではなく、まずは相手側の考え方を知りたいということ」と説明。「最も聞きたいのは、北播磨圏域で必要な看護師を確保できるかどうかだ」と話している。

（中西大二）